



佐藤哲三《みぞれ》1953年 神奈川県立近代美術館寄託



佐藤清三郎《靴》1935年 宮城県美術館蔵

文学者、画廊主、美術収集家として知られる洲之内徹(1913-1987)は、1961年より小説家・田村泰次郎から引き継いだ現代画廊で、個性あふれる数多くの作家を紹介しました。また、雑誌『芸術新潮』に14年間(1974-1987)165回にわたって、美術エッセイ「気まぐれ美術館」を連載し、その独特の語り口は多くの熱心な読者を獲得し好評を博します。洲之内は**「五十代の終わり頃から六十代にかけての十年余り、私の身の上にあったことのすべての背景には新潟がある」**と振り返っていますが、特に1969年以降、新潟との縁が深まり、阿賀野市・出湯温泉の石水亭を定宿に度々新潟を訪れて、佐藤哲三や田畑あきら子、峰村リツ子、木下晋など、多くの新潟ゆかりの作家たちも現代画廊の展覧会や「気まぐれ美術館」で取り上げました。

洲之内の没後、手許に遺された作品群は、現在「洲之内コレクション」として宮城県美術館に収蔵されています。本展覧会は、このうちの半数をこえる作品のほか、彼の著作の中で語られた作品や、現代画廊の初期にかかわる作品、洲之内が画廊経営を引き継いだ後の作家の作品など、56作家約190点と関係資料により展示構成いたします。洲之内徹という昭和を生きた一人の人間の目と精神を通して、戦後の新しい近代美術史像が生成されていく過程のひとつこまを垣間見ると同時に、なぜ人はかくも美術に愛着をもつのか、という問いにあらためて思いをはせる機会ともなるでしょう。



木下晋《やすらぎ(洲之内徹像)》1988年 個人蔵

講演会①「洲之内徹が愛した新潟」

4月27日(日) 14:00~15:30

講師：木下晋氏(画家)

講演会②「対談:夭折の画家・田畑あきら子をめぐって」

5月10日(土) 14:00~15:30

講師：吉増剛造氏(詩人)、大倉宏氏(美術評論家・砂丘館館長)

講演会③「洲之内コレクションについて」

5月25日(日) 14:00~15:30

講師：有川幾夫氏(宮城県美術館館長)

いずれも当館講堂にて／参加無料／定員80名

■申込方法／往復はがきに氏名、年齢、住所、電話番号、FAX番号、参加希望の講演会名を明記してお申し込みください。講演会①は4月18日(金)、講演会②は5月1日(木)、講演会③は5月16日(金)それぞれ必着。応募者多数の場合は抽選となります。

作品鑑賞会 当館学芸員による解説

企画展示室にて講演会の開催日を除く日曜日14:00~15:00

当日の観覧券をお持ちの上、企画展示室入口にお集まりください。



田畑あきら子《作品》1967-68年 国立国際美術館蔵

「洲之内徹」関連展示

砂丘館 (新潟市中央区西大畑町5218-1 TEL. 025-222-2676)

「洲之内徹と現代画廊」と2人の画家

砂丘館ギャラリー(蔵)にて

前期：佐藤清三郎展 4月12日(土)~5月11日(日)

後期：川北英司展 5月14日(水)~6月8日(日)

※砂丘館の旧居宅部分では現代画廊ゆかりの他の画家たちの作品も展示

開館時間:9:00~21:00/入館および観覧無料

休館日:月曜日(5月5日は開館)、4月30日、5月7日、8日

新潟市美術館コレクション展I「気まぐれ拾遺」

当館常設展示室にて

4月12日(土)~6月29日(日)

新潟市美術館のコレクションから洲之内徹ゆかりの作家の作品を展示

新潟市新津美術館の展覧会 TEL 0250-25-1300

川島小鳥写真展「未来ちゃん」／南区の隠れた名品展

4月19日(土)~6月1日(日)

《交通のご案内》

●バスで

[A] 新潟駅(万代口バスターミナル)から

①3番線「美術館線」乗車約20分

→「新潟市美術館前」下車

②2番線「附船町線」(附船町経由入船営業所行き)

乗車約20分→「西堀通八番町」下車、徒歩5分

③13番線「観光循環バス」朱鷺メッセ先回り「犬夜叉

号」乗車約23分→「美術館入口」下車、徒歩2分

[B] 他の路線バス「古町」下車、徒歩約10分

●タクシーで

新潟駅万代口から約10分

●自動車で

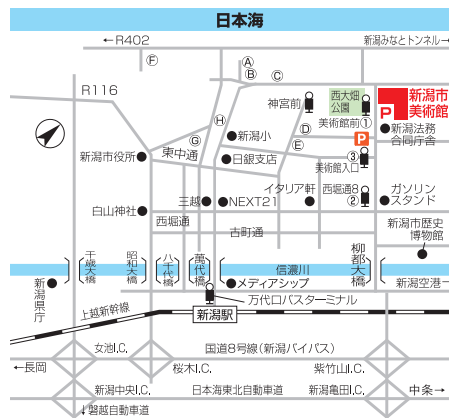
[1] [高速道路]日本海東北自動車道、新潟亀田I.C.を降り、柳都大橋経由で約20分

[2] 国道8号線(新潟バイパス)紫竹山I.C.を降り、

柳都大橋経由で約15分

《周辺施設のご案内》

A.新潟市會津八一記念館 B.砂丘館 C.安吾 風の館 D.旧齋藤家別邸 E.北方文化博物館 新潟分館 F.新潟市水族館(マリニピア日本海) G.新津記念館 H.新潟大学旭町学術資料展示館



新潟市美術館

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9
TEL.025-223-1622 / FAX.025-228-3051
E-MAIL museum@city.niigata.lg.jp http://www.ncam.jp/